

平成28年5月9日

金井中だより

第2号

校長 仙北屋正樹

挨拶と笑顔は、お互いのコミュニケーション

ゴールデンウイークが終わり、学校はいよいよ体育祭に向けての準備が始まりました。放課後は、応援や団旗の製作などで活気づいています。ただ、その前に19日(火)・20日(水)に中間考査が控えています。生徒たちは、そちらのことも考えていかなければなりません。少し大変ですが、力を抜かずにがんばってもらいたいものです。

ゴールデンウイーク中に、体育系の部活は春の大会が行われていました。私も生徒の様子が見たくて、バレーボール部・野球部・ソフトテニス部・バドミントン部・陸上部の大会に行きました。どの部活も本当によく頑張っていました。でも、それよりももっと感動したことがあったのです。それは、どこの部活に行っても「校長先生が来てくれた」と言ってすごく喜んでくれることです。金井中の校長になって本当によかったと思いました。そして、誰もが笑顔で挨拶をしてくれるのです。生徒にとっては、代わったばかりの校長先生など覚えてもいないと思っていた私にとっては感動でした。それと同時に、笑顔の挨拶がとても安心感を与えてくれ、自分が校長として金井中にいるということを認識できたうれしいひとときでした。「あいさつ」は、不思議な効果を与えてくれる言葉です。特に、初対面の人には勇気を与えてくれる言葉です。誰も知らない場所に行った時、ひと言あいさつをしてくれるだけで、心が落ち着く経験をした人は何人もいることと思います。外国の人は、あいさつにスキンシップを加えますが、日本人にはその習慣がありません。その代わりが笑顔なのだと思います。「笑顔」は「あいさつ」とともに、日本人にとって大切なコミュニケーション方法です。金井中の生徒のみなさんには、ぜひ、このツールを使いこなせるように指導していきたいと思っています。

1年生の活躍に期待しています

1年生も、入学してから早くも一ヶ月が過ぎました。朝、教室をのぞきに行くと、一生懸命朝読書をしている姿が、とても初々しく感じられます。1年生の多くが、まだ制服を着ているというよりも、制服に着られているという表現のほうが、正しい感じがします。でも、読む姿は真剣そのもの。それがまた、かわいいですね。

4月11日(月)には部活動説明会が行われ、先輩方がそれぞれの部活動の特徴をとらえた説明やパフォーマンスで、1年生にアピール。そのおかげで、たくさんの1年生が部活動に参加するようです。

4月28日(木)には、生徒総会が行われました。そこでは、1年生の代表も各専門委員として紹介され、いよいよ金井中の一員という様子でした。総会の話をお聞きするときも真剣そのもの。この気持ちを忘れずに、3年間を過ごしてもらいたいと思います。

